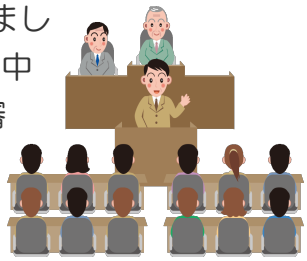
横須賀市議会議員

長谷川 昇

市政報告

2019 年 4 月～横須賀市議会議員三期目当選
役職等:総務常任委員会委員等、三浦半島地域連合議員団会議事務局長。
所属会派:「よこすか未来会議」（12 名）
事務所：〒238-0012 横須賀市安浦 2-33-1-102
TEL：080-4383-1633　fax：046-854-9529
E-Mail:hasedon2@gmail.com
ＨＰ　http://hasedon.info/

◎9 月議会報告　～感染症対策などを中心に～



▼9 月定例議会は 8 月 29 日から 10 月 4 日までの 37 日間の会期で開かれました。前半の補正予算関連では、感染症対策など 120 億円のコロナ対策などを中心に下水道料金の料金改定などの審査が行われました。▼また、後半の決算審査では、コロナ関連の補正も含めた一般会計 1756 億円の歳出について、監査からの報告を受け、常任委員会ごとに審査がおこなわれ、可決成立しました。▼さらに、議会最終日に横須賀米軍基地内で PFOS（有毒フッ素化合物）が基準値を大幅に越えて検出したことから早期の対応を求める決議を全会一致で可決し、米軍並びに防衛省に対応を求めました。

○物価高騰対策　給食食材などの値上がり分を市が補てん

▼ロシアのウクライナ侵攻や円安による急激な物価高騰への支援策としてへの市立小中高校や幼稚園、保育所、高齢者施設、障害者施設などで提供されている給食について、食材費の値上がり分の補てん、さらに光熱費・燃料費等の 2/3 補助を加えて、総額約 3 億 6000 万円を、緊急対策としての支援を行う議案を可決しました。▼また、農業・畜産・水産事業者についても燃料費・肥料・飼料など経費の物価高騰対策として、国からの支援金をもとに、値上がり分の補てんをする施策を実施します。

▼長谷川昇は、常任委員会では、困っている農業者・漁業者がたくさんいることを指摘し、その情宣等を積極的におこない、きちんと届く手助けを行政が行うことを要請しました。

○議員定数 40 人から 1 減。　来年の統一地方選挙から

▼９月定例議会本会議で、議員定数を現行の 40 人から１人削減して 39 人とする条例改正を賛成多数で可決。来年４月に行われる統一地方選の市議選から適用となります。前回の選挙でも定数を１人削減しており２期連続ですが、今回も定数削減となったのは、横須賀市の急激な人口減と税収の減少、社会保障費の増加により財政運営がより厳しくなっていることなどが議

主な理由。▼一方で、複数名の減などの意見もありましたが、定数を大きく減らした場合に議会の監視機能に支障をきたすことに加え「犯罪被害者基本条例案」等、議員提案の条例など継続して行うためには相応の議員数が必要だとして、最終的に１減で決定しました。

「米軍基地内の PFOS への早期の対応を求める決議」を全会一致で可決しました。

▼5 月に問題が発覚して以来、調査と原因究明を求めてきましたが、９月 30 日、米軍基地内の生活排水２カ所からPFOS（有毒フッ素化合物）が8,592ng/l（ナノグラムパーリットル）と 5,450ng/lが再度検出されました。これは、基準値 50ng/lに対して、180 倍、100 倍という数値であり、市長はこの原因究明と早急な対応を防衛施設庁と米海軍に求めました。　▼その事を受けて、10 月 4 日本会議最終日に、横須賀市議会は、早期の対応を求める決議を全会一致で可決しました。今後もその調査や対応について注視していく必要があります。

※PFOS とは

ペルフルオロオクタンスルホン酸（PerFluoroOctaneSulfonic acid）

▼有機フッ素化合物の一種で、各国で使用禁止となっている有害物質です。1940 年代にアメリカで開発された界面 活性剤で、耐熱性、耐薬品性など非常に優れた安定性を持ち、表面張力を大きく低下させることなどから、撥水剤や紙・布の防汚剤原料、泡消火剤成分などとして幅広く使用されてきました。フライパンのテフロン加工や食品包装紙の撥水加工の際の原料などとして幅広く利用されてきました。しかし、有機フッ素化合物の人の健康への影響は発がん性や 胎児への影響が指摘され、安定性の高さゆえに環境中でほとんど分解せず、生物中に蓄積することなどから、国際的に製造・使用の制限がされています。※ジェット燃料などの消火に泡消火器が使用されており、その可能性も含め原因の究明を求めています。

◆◆大楠山山頂のトイレの改修を市長に要望しました。◆◆

▼地元の方やハイキング愛好家の方達から、大楠山の山頂トイレはかなり旧式で、「使用するに堪え難い状況だ」という話を聞き調査に行ってきました。▼大楠山は三浦半島の最高峰で、４つのハイキングコースがあり、神奈川県 100 景の一つでもあります。ハイキングブームで多くのハイカーが訪れる三浦半島随一の景勝です。▼しかし、トイレに入ってみると・・・。床はコンクリートで男子トイレはそのままコンクリートの床の溝を流れる昭和時代のもの。大便器は木製の蓋がしてあり、暗く、いわゆる汲み取り式のもので少なくとも快適な環境とはいえないトイレでした。▼横須賀市の担当部局と話をすると、現状のし尿の処理はすぐ下の通信施設の駐車場までバキュームカーを入れて処理していること、清掃業者さんが定期的に清掃しているとのこと。▼大楠山では山頂で食事や休憩をとる方が多いことから、緊急にトイレの改修が必要であるとして、私たちの会派の要望書に盛り込みました。その上で９月 30 日、上地市長に対して直接トイレ改修の必要性を伝え、観光を進める観点からも強く要望しました。　来年には快適なトイレとなることを一住民として願っています。